

尾張旭市立東部保育園指定管理者の候補者の選定結果

令和４年６月に下記施設の指定管理者を募集し、応募のあった２者について指定管理者選定会議を設け、指定管理者の候補者の選定をしました。指定管理者の指定は、地方自治法第２４４条の２第６項の規定により議会の議決を経る必要があります、以下に記載している内容は、候補者選定の結果です。

市では、この結果に基づき、令和４年９月尾張旭市議会定例会に指定管理者の指定に係る議案を提出し、導入に当たっての進めを進めます。

１ 対象施設

尾張旭市立東部保育園

２ 選定会議の経緯

回数	開催日	主な内容
第１回	令和４年７月１２日（火）	審査方法の説明、書類審査、応募者への確認事項等意見交換
第２回	令和４年８月３日（水）	プレゼンテーション、質疑応答、候補者の選定

３ 指定管理者の候補者

名古屋市守山区竜泉寺二丁目３０１番地

社会福祉法人オールフェアリー

４ 審査基準及び審査結果

審査基準	評 価 点		
	配点	社会福祉法人 オールフェアリー	ライクキッズ株式会社
(1) 利用者の平等利用の確保 及びサービスの向上	１５０	１４４	１４４
(2) 公の施設の効用の最大発揮 及び管理経費の縮減	４２５	４００	３７１
(3) 管理を安定して行う物的 及び人的能力	２００	１９０	１６８
(4) その他の要件	２２５	２０８	１９５
評価点合計	１，０００	９４２	８７８
候補者順位		１	２

5 選定理由

(1) 利用者の平等利用の確保及びサービスの向上

- 子どもを社会の宝物と捉え、本市子ども・子育て支援事業計画を遵守し、本市の保育方針を基礎としながら、豊かな人間性を持った子どもを育む具体的で実現性がある様々な取組が示されている。
- 保護者からの意見等を全ての園に対するアドバイスと捉え、相談解決責任者と共に要望等を解決するなど、サービスの向上を図るための体制を整えている。
- 一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、気持ちに寄り添った保育を行っている。また、保護者の心に寄り添い、ともに喜び、ともに感動する子育てサポートを実践するとともに、地域とのつながりを大切にした運営が期待できる。

(2) 公の施設の効用の最大発揮及び管理経費の縮減

- 新型コロナウイルス感染症対策として、衛生管理の徹底が示されており、多数の職員が感染した場合の、業務の継続方法についても検討されている。
- 延長保育は、保育園を第2の家庭として運営する上で、夕方保育と位置づけ、子どもたちの笑顔と保護者の安心のため、温かく楽しい保育の実施を提案している。また、障がい児保育は、健常児との統合保育の中で、両者がともによりよい発達と、個性を認め合う育ちを目指した提案をしている。
- 園児が就学前に小学校を訪問するとともに、職員同士の交流や情報共有・相互理解など積極的な連携を図り、発達の連続性が小学校に引き継がれるような取組が提案されており、地域における子育て支援のつながりを大切にした運営が評価できる。

(3) 管理を安定して行う物的及び人的能力

- 社会福祉法人であるため収益と費用の差はなく、経営の継続性に心配はない。負債額も少額で安定した経営を行っているため、指定管理を行なわせる上で、継続的かつ安定的な経営が可能であると判断できる。
- 人材育成・研修については、子どもの成長のそばにいるふさわしい人を目指し、知識・意識・組織についてバランスよく学ぶ機会を設け、オンライン研修を積極的に活用し、ICT化導入により職員間のコミュニケーション向上も図ることで、保育の質の向上に努めている。

(4) その他の要件

- 独自事業については、園児を対象にした英語や体操教室のほか、保護

者を対象にしたカウンセラーの導入、月額定額でおむつ・おしりふきを使用できる手ぶら保育の導入など、不安解消・負担軽減につながる取組を実施しており、保護者にも寄り添った提案がされていることが評価できる。

- 本市における実績のほか、近隣地域で保育所等を運営しており、地域に根ざした支援の知識と経験をいかし、今後も本施設の管理運営を行っていく能力を十分有していると認められる。

以上、「審査基準表」の審査基準及び審査の視点に照らして選定を行った結果、社会福祉法人オールフェアリーを尾張旭市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例第5条に基づき、適当と認める団体として選定し、指定管理者の候補者とします。